

③&⑥の別添：電機・電子の生産活動量（鉱工業指数）の状況

資料4-4

■生産活動量（鉱工業指数）は、電子部品・デバイス分野、電気機械分野、情報通信分野で推移が異なり、また、同じ分野内でも製品や生産工程は多岐に渡る。

2010年を100とした場合（暦年）

